

広報

No. 147

くまがた

昭和60年9月15日

発行・編集 国見町企画課

おもしろ内容

9月15日は敬老の日	2~3
国勢調査にご協力を	4~5
カメラルポー~小学校スポーツ交歓会	6
ふるさとの文化財	7
おしらせ	8~9
公民館だより	10~11
わだい	12

'85

9月

“ヤマジノホトトギス”

山地にはえる多年草で、初秋に白い小さな花を咲かせ、秋の訪れを感じさせてくれます。

(大木戸地区で)

9月15日は敬老の日



九月十五日は「敬老の日」。また、この日から一週間は「老人福祉週間」です。

いまわたしたちの町には、六十五歳以上のお年寄りが、一月一日現在で千六百四十一人います。しかも、高齢者の比率は増える一方にあります。

お年寄りは、これまで永年にわたって社会に貢献してこられました。長寿を心からお祝いするとともに、今後も今日までつちかかってきた豊かな知識と経験を社会に役立てていただくたいものです。

老後——それは、だれにでもやがて訪れる人生の道程。生きがいのこと、健康のこと、そしてゆとりある生活設計など、世代を越えて、理解と協力の輪をひろげましょう。

町の老人福祉対策

*一人暮らし、寝たきりお年寄りのために

わたしたちの町には、五月一日現在で、一人暮らしのお年寄りが五十三人、寝たきりのお年寄りが四十八人おられます。これらの方々には、家庭奉仕員制度（ホームヘルパー）、特殊寝台の貸し出し、見舞金を支給します。

*老人保健法による医療

医療保険各制度の加入者のうち、七十歳以上の老人及び六十五歳以上七十歳未満の寝たきり老人等については、加入してい

る医療保険の医療給付の対象からはずされ、老人保健制度による医療を受けることとなります。

*敬老会の実施

町では、お年寄りの長寿を祝福するために、九月十五日の敬老の日、町民体育館で敬老会を開催します。

なお、この席上、数え年八十八歳になられた方に記念品（座布団）をお贈りしています。

*敬老祝金の支給

毎年九月、満八十歳以上の方に町から敬老祝金五千円を差し上げます。なお、八十五歳以上の方には、県からも五千円が贈られます。

吉田マキさんに

感謝状

敬老の日先だち、九月十二日町長室で、吉田マキさん（山崎町中島一九八十五歳）に、菊地町長から感謝状と金一封が贈られました。

吉田さんは、初孫の敬幸さん（宮町南）が藤田小学校に入学した昭和三十年から三十年間にわたり、藤田保育所、藤田幼稚園、藤田小学校、県北中学校に、毎年そうぎんを寄付していただきました。

針の糸道しから縫製まで、すべてひとりで行っている吉田さんは、この日の縫いあげたそうぎん百三十枚を持参。早速、藤田幼稚園に贈られました。



▲菊地町長から感謝状を受ける吉田マキさん



ご長寿

おめでとうございます

昭和60年9月15日現在(85歳以上の方、敬称略)

前山	中	川	貝	大	山	大	大	小	町	石	並	大	德	石	山	石	小	山	内	部
崎	内	内	大	町	崎	木	木	第	第	母	大	江	江	母	崎	母	山	内	内	部
田	部	部	町	南	小	戸	戸	十	十	田	柳	北	北	田	北	田	根	西	西	落
安	吉	岩	田	佐	吉	松	村	二	二	東	佐	北	北	北	北	村	鴨	鴨	鴨	氏
藤	田	池	菊	久	田	浦	上	高	早	藤	藤	斎	斎	斎	高	上	田	田	田	名
末	清	ふ	地	間	榮	繁	ヂ	梨	田	ツ	レ	津	藤	藤	橋	や	惣	惣	惣	名
吉	七	よ	ち	う	作	一	ン	ト	富	ネ	シ	セ	ウ	ウ	吉	う	太	太	太	年
				め				ヨ												齡
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												
				か				ヨ												
				め				ヨ												
				よ				ネ												

見直す国やまち ご協力を

もうすぐ十月一日「国勢調査」の行われる日です。この調査は、大正九年の第一回から数えて、今回が十四回目になります。国勢調査は、皆さんの明るい暮らしと住みよい町造りのため、いろいろな施策を進めていく上で欠くことのできない基礎資料を得るための、極めて重要な調査です。ぜひ、ご協力をお願いします。

記入は黒鉛筆を

- 調査票は、必ず黒鉛筆で記入してください。ボールペンや万年筆は、黒色でも絶対使用しないでください。
- 答えを文字または数字で書くところは、からはみ出さないようにしてください。
- 書き間違えた場合は、消しゴムできれいに消してから正しく記入しなおしてください。

調査の対象 および調査の場所

国勢調査では、住民基本台帳などの届出に関係なく、昭和六十年十月一日現在、受持ち調査区内にふだん住んでいる人（またはふだん住んでいるとみなされる人）すべてを、その人がふだん住んでいる場所で世帯ごと

に調査します。

● 十月一日現在です。三ヶ月以上町内に住んでいるか、または十月一日前後を通じて三ヶ月以上住むことになっている人。

● 出稼ぎ、旅行、出張などで一時的に自宅を離れている人で、十月一日前後を通じて不在期間が三ヶ月未満の場合は当町で調査します。

● 定まった住居のない人で、十月一日の前後を通じて三ヶ月以上にわたって住んでいる所も住むことになっている所も場所を調査します。

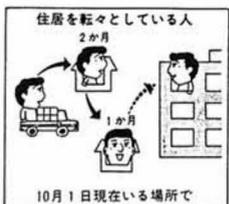
● 病院・療養所などの入院患者で、入院してから三ヶ月にならない場合は自宅で調査し、三ヶ月以上（七月一日以前に入院した人）になる人は、病院・療養所で調査します。

● 船舶に乗り組んでいる人は自宅で調査します。

調査項目は十七項目

今回の調査は、男女の別、出生の年月、配偶者の有無、産業、職業、世帯の居住状況など、全部で十七項目です。

☑ ぶだん住んでいる人（またはぶだん住んでいるとみなされる人）





五年ごとの数字で 国勢調査に

調査員

国見町内を六十六の調査区分け、それぞれの調査区を次の調査員が担当します。

九月二十四日から三十日までの間に各世帯に「調査票」を配り、十月一日から七日までの間に、もう一度各世帯を訪問し、記入済みの調査票を集めます。調査員は、総務庁長官の任命による非常勤の国家公務員で、調査によって知りえた秘密は他

に漏らすことは固く禁じられています。どうぞありのままにご記入くださるようお願いいたします。

菊地勝雄 松田武男
佐藤幸治 星野治三
八島藤市 佐藤庄三
阿部忠夫 松浦富夫
八島健一 谷津長夫
佐藤喜久雄 佐藤長壽
小林福治 齋藤久太郎
鈴木正明

国勢調査の
苦情相談について

国勢調査に関して、疑問や苦情などがある場合は、次の窓口へご連絡ください
役場企画課内「国勢調査相談係」
電話五二二一―内線二六三九

- （大木戸地区）
菊地勝雄 松田武男
佐藤幸治 星野治三
八島藤市 佐藤庄三
阿部忠夫 松浦富夫
八島健一 谷津長夫
佐藤喜久雄 佐藤長壽
小林福治 齋藤久太郎
鈴木正明
- （大枝地区）
小野智 高橋正明
野地憲七 高橋敏
佐藤充茂 高橋正治
佐藤茂昭 高橋波田
佐藤良次 高橋武治
穴戸安次 佐久間春
赤坂周一 佐藤俊雄
- （森江野地区）
小坂精一 高橋市太郎
野村正一 高橋清一
野村和夫 高橋良作
仲野周一 藤田勝夫
赤坂周一 佐藤俊雄
- （小坂地区）
高橋弘信 小林幸夫
岩城重夫 小林善雄
秦内勝美 岡崎善雄
秦和精 阿部孝司
阿部重三 羽根拓三
高橋正夫 奥山邦夫
佐藤光男 齋藤政之
佐藤俊次 佐久間靖明
羽根俊一 吉藤ヒサ子
- （森江野地区）
小野智 高橋正明
野地憲七 高橋敏
佐藤充茂 高橋正治
佐藤茂昭 高橋波田
佐藤良次 高橋武治
穴戸安次 佐久間春
赤坂周一 佐藤俊雄

10月1日 国見町は何人？

国勢調査クイズの締切せまる

- 町では国勢調査の人口当てクイズを募集中です。10月1日での人口は何人か？ズバリ賞・前後賞など賞品を用意しています。早目に次の要領でご応募下さい。
- ◎ハガキに10月1日現在の予想人口を「〇〇人」と記入下さい。
 - ◎住所、氏名、年齢もお忘れなく。
 - ◎国見町企画課（藤田字一丁田二の1）へ。
 - ◎書面に記入のうえ直接持参も可。
 - ◎締切りは9月30日。

（人口の推移）

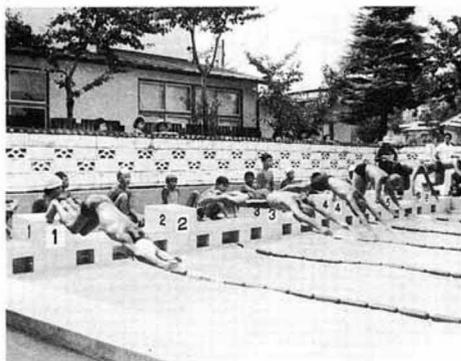
昭和40年	12,672人
45年	12,093人
50年	11,928人
55年	12,050人
60年9月	11,999人

（例）表

国見町藤田字一丁田
国見町役場
企画課 行

裏

十月一日の予想人口は
〇〇〇〇人
住所
氏名
年齢



▲いっせいにスタート (男子25m自由形)

カメラ ルポ



小学校スポーツ(水泳)交歓会

昭和六十年度町小学校スポーツ(水泳)交歓会が、八月二十八日午後一時から藤田小学校プールで行われました。

藤田・小坂・森江野・大木戸各小学校の六年生全員百七十名が参加し、二十五メートル自由形、五十メートル平泳・自由形、百メートル平泳・自由形、百メートルリレーの六種目に熱戦を展開しました。

水泳交歓会は今年で二年目。各種目とも好記録が続出しました。

残暑の厳しい炎天下、水しぶきをあげながら元気いっぱい泳ぐ子供たちをカメラでおいかけてみました。



▲さあ頑張つて!! (女子100mリレー)



▲それつ たのむぞ!! (男子100mリレー)



▲負けるもんか!! (女子25m自由形)



▲好勝負を展開 (女子100m平泳ぎ)

ふるさとの文化財 ⑬

町史跡

奥州道中国見峠長坂跡

菊池利雄

馬路は三間とある。(伊達)

「こよりすこし進めば国見峠で、現在は東北本線の敷地内にある。峠からの道筋は下り坂で何度かの付替によって生じた古道は訪れる人もなく、深い木立ちの中にその姿をよこたえている。幕末の奥州道中絵図(伊達)によれば、この坂道の左手に境の石佛が絵がかれているが現存しない。坂道が平地に降りたあたりは原野の小集落で武士沢川を渡って北に進めば貝田宿に達する。

寛永十九年(一六四二)の「半沢藩信夫海道之立札案並に駄賃定」によれば、藤田・貝田宿間の道程は一里七町三十間(四八)で、駄賃は三十文とされていた。国見峠は軍事、交通上の要衝に位置するため、古代においては下紐の関が置かれて蝦夷に備えたといわれ、文治五年(一一八九)の奥州合戦に藤原泰衡軍はこの地に、二重堀と大木戸を構えて源頼朝軍と激戦を交えた古戦場でもある。近世においては仙台をはじめる一関・盛岡・八戸・松前藩の諸侯が、江戸と元との間を参勤交代に通つた道であり、「奥の細道」に「路縦横に踏んで、伊達の大木戸を越すと元禄二年(一六八九)の五月に、芭蕉が旅したのもこの道である。

国見峠は、天險の地として著名な厚樫山の東麓(標高三〇三)にあつて、東山道・奥大道・奥州道中・陸前街道などと、時代によつて呼称が異なる奥羽地方の幹線道路が、險阻なこの峠を越えて刈田郡(現宮城)以北の地へと通じていた。

江戸期の国見峠は奥州道中最大の難所とされ、藤田宿から北東に向かい、弁慶の硯石山を左手にみながら、山窩(山窩)の住家とされたもの寂しい上野原を通り、古くは国見沢と呼ばれた滑川沿いの底地を過ぎると、長坂と呼ばれる急な山坂にさしかかり、登りつめた所に長坂の茶屋(二軒)があつた。このあたりの街道は道敷が五間・幅四間、

さらに明治維新の戊辰戦役には軍事道路として重要な役割を果たした。明治十年代になると国見峠の急な坂道が車馬の通行に適さなくなり、山麓に新道が開かれるにおよんで、峠越えの街道は廃されて歴史的な使命を終えている。

昭和六十年三月、町では旧道のおもかげをよく残している、国見峠の長坂を史跡に指定した。茶屋跡の近くには芭蕉の記念碑(昭和四三)、半沢経山の筆塚の碑(昭和四三)、知道軒戸賀崎翁碑(天保四年)などがあり、歴史の跡を訪ねる散歩道としての活用が望まれる。

参考文献「国見町史」二・二四卷「歴史の道」奥州道中



身近にある野草薬草

⑮

クズ



全国各地の日当たりのよい林のへりや土手に大群生する、つる性多年草で秋の七草の一つです。夏に赤紫色の蝶形花を総状につけ、下のほうから咲きだします。根は肥大し、一メートル以上にもなります。繁殖力旺盛で、植林地に侵入し樹木からみつき枯死させるので知らわれがちですが、根は葛根湯の原料として大事な生薬です。

▼薬用▲
根は夏から秋に掘ります(葛根)。花は開花期の八月ごろにつみとり、風通しのよいところで日干し(葛花)。

健康飲料に 水洗いした生の根約百グラムを刻み、水を加えてミキサーで砕き、繊維質を沈殿させ、上澄み液を別の容器に移します(二週間分)。冷蔵庫で保存し、朝夕二回食前に飲む。

二日酔いに 乾燥した葛花三、五グラムを水三百ccで煎じ、煮立ったら火を止め、冷まして飲みます。

力せのひき始めや病後に くず湯を飲みます。

▼食 用▲

新芽、若葉、花は手でつみとり、根はシャベルなどで掘りとります。

料理 新芽、若葉は塩を入れた熱湯でゆでて、こまあえ、煮びたし、油いために。花はゆでて酔の物や、生のまま天ぷらに。根は皮をむいてゆでこぼし、煮物にします。

●くず湯の作り方 くず粉大さじ一、砂糖少々を水カップ一でじき、弱火でまぜながら、透明になるまで煮て、おろししょうがを入れて飲みます。
(山野草カラー百科から)



四十歳からの健康週間について

十月十日から十六日までの一週間に「昭和六十年度四十歳からの健康週間」と定められました。

健やかな老後を実現するためには、壮年期からの健康管理が重要ですので、日常生活においても栄養、運動、休養などを考えながら、自分の健康は自分で守るという習慣を身につけましょう。

「行政相談」を実施

十月十三日(日)から十月十九日(土)までの一週間は、「秋の行政相談週間」です。

この期間中、当町の行政相談委員による「行政相談所」を次のとおり開設いたします。日常生活などの中で、行政に対するいろいろな要望や意見、苦情など、この機会に相談になっては

いかがですか。

行政相談員は、中立、公平に相談に応じ、その解決や実現のお手伝いをします。また、秘密は固く守ります。

お気軽にご利用ください。

○日時 十月十四日(月)九時～十五時

○場所 町公民館

○相談員 内池和子

環境衛生週間

について

九月二十一日から二十七日までの一週間に「環境衛生週間」と定められました。

お互いにごみの散乱防止および排出抑制、資源の再利用、浄化槽の管理、ねずみおよび害虫などの駆除に気をつけましょう。

特に、九月二十四日は、廃棄物の処理および清掃に関する法律が施行された日に当たるので、この日を「清掃の日」と定められていますので、明るい町づくりにご協力ください。

特設人権相談所を開設

福島地方方法務局、福島人権擁護委員協議会および町では、第二十六回「法の日」週間行事と

して、左記のとおり無料特設人権相談所を開設いたします。

○困りごと、悩みごとがありましたら、お気軽においでください。

○相談内容は、すべて秘密です。

○担当者は、人権擁護委員、法務局職員です。

○日時 十月一日(火)

午前十時～午後三時

三場 所 国見町公民館

戦没者の遺族に対する特別弔慰金の支給

〔終戦四十周年にあたって〕

趣旨

今年、終戦から四十年目にあたりますが、先の大戦でなくなられた戦没者等の遺族に対し、国として改めて弔慰の意を表すため、特別弔慰金として国債(額面三十万円、十年償還、無利子)を支給することとしました。

二 特別弔慰金の支給対象

特別弔慰金の支給対象は、満州事変以後に死亡した戦没者等の遺族で、昭和六十年四月一日において、同一の戦没者等につき公務扶助料、遺族年金等の受給者がいない者です。

特別弔慰金の支給対象となる戦没者等および遺族の範囲は次のとおりです。

1 戦没者等
満州事変勃発(昭和六年九月十八日)以後に公務上傷病にかかり、またはより死亡した軍人軍属または準軍属(被徴用者、動員学徒、国民義勇隊員等)であった方です。

2 遺族の範囲
太平洋戦争勃発(昭和十六年十二月八日)以後に死亡した者の遺族については、戦傷病者戦没者遺族等援護法(以下「遺族等援護法」と略します)による弔慰金を受給した者です。なお、弔慰金受給者が昭和六十年四月一日において、すでに死亡されている場合は、戦没者等の子、戦没者等と生前同一生計関係にあった父母・孫・祖父母・兄弟姉妹、戦没者等と生前同一生計関係のなかつた父母・孫・祖父母・兄弟姉妹、戦没者等と生前同一生計関係のなかつた父母・孫・祖父母・兄弟姉妹、戦没者等と生前同一生計関係のなかつた父母・兄弟姉妹、戦没者等と生前同一生計関係のなかつた三親等内の親族の順で、そのうち上記の順序でその他の遺族に支給されます。

三 請求手続き

今回の特別弔慰金を請求しようとする方は役場住民課において手続きをしてください。請求用紙は窓口へ備えつけてあります。

なお、詳しくは役場住民課におたずねください。

今回の特別弔慰金の請求期限は、昭和六十二年六月十三日までとなっております。この期限をすぎますと時効により失権しますので、請求もれのないよう注意してください。

四 特別弔慰金の償還

支給された特別弔慰金国債は、昭和六十一年から毎年六月十五日以後、十年にわけて償還されます。一回の償還額は三万すつです。

善意の窓

町社会福祉協議会に

◆玉手昭市さん(中部)から
二万円―故ナラエさんのご遺志

◆山内祐さん(大町南)から
二万円―故チヨさんのご遺志

◆瀬戸健二郎さん(駅前)から
二万円―故サクさんのご遺志

◆吉田健治さん(原町)から
一万円―故ノブさんのご遺志

◆吉田貞男さん(宮町北)から
三万円―故キヨノさんのご遺志

◆稲村克己さん(宮町南)から
二万円―故トメさんのご遺志

県北中学校に

◆瀬戸健二郎さん(駅前)から
二万円―故サクさんのご遺志

◆山内祐さん(大町南)から
二万円―故チヨさんのご遺志

食べてますか このマーク



県では、豆腐・納豆などの地域食品について、地域食品認証制度を設け、製造施設や品質、表示などの基準を定め、きびしい検査に合格したものに、この認証マークを付けることを許可

しています。

現在、豆腐・油揚げ・納豆・こんにやく・かまぼこ類を認証対象品目として本制度を実施していますので、ぜひ認証マークの付いた地域食品をご利用ください。

なお、本制度についてお問い合わせは、最寄りの各行政事務所県民生活課または県庁県民生活課消費者行政班までおたずねください。

自衛官を募集

◎募集対象および応募資格
・二等陸士(一般男子) 十八歳以上二十五歳未満
◎試験日
志願時に連絡します。

※詳しくは自衛隊福島募集案内所(☎三一五五二九)または役場住民課(☎八五一二二)へお問い合わせください。

職員を募集

福島地方広域市町村圏養護老人ホーム組合では、十一月十日に職員採用候補者試験を実施いたします。

受験資格は、昭和三十八年四月二日から昭和四十三年四月一日までに生まれた方で、職種は寮母(夫)です。

希望者は、当組合事務局(福島市中町六一三)☎二四一〇四一二へお問い合わせのうえ九月末日までお申し込みください。

戸籍の窓口

(8月受付分)

出生おめでとうございます

子	名	保護者	部	落
奈津美	(なつみ)	高橋 信一	山崎 小	館東
法昭	(のりあき)	熊坂 初男	内谷	三東
祐典	(ゆうすけ)	菅野 真人	第	九
正隆	(まさたか)	菊地 正人	宮	第
舞子	(まいこ)	佐野 直光	第	九
領弥	(えりや)	斎藤 松雄	山	大
亜希	(あき)	松浦 繁男	木	戸
和之	(かずゆき)	後藤 義男	田	田

ご結婚おめでとうございます

氏	名	部	落
大内	郎子	泉	中
小佐	隆榮	田折	町
八巻	榮夫	桑江	北
一	條	徳	北

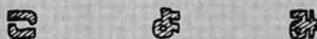
おくやみ申し上げます

氏	名	年齢	部	落
戸市	郎	65	第七	館部
田イ	ナ	91	崎	第一
手ナ	ナ	79	山	前
地ヤ	イ	72	中	戸
戸サ	ク	75	第	町
津勝	ブ	78	大	北
谷ノ	チ	85	原	北
吉イ	キ	82	石	母
菊田	ノ	91	田	北
吉	キ		宮	町

人口と世帯

9月1日現在(前月比)8月中のうごき

人	男	5,828人 (+3)	転入	28人
	女	6,171人 (+2)	転出	22人
口	計	11,999人 (+5)	出生	8人
世帯数		2,878戸 (+3)	死亡	9人



9月 長月(ながつき)	10月 神無月(かんなづき)
20日(金) 彼岸入り	1日(火) 法の日
動物愛護週間	共同募金
23日(月) 秋分の日	8日(火) 寒露
24日(火) 結核予防週間	10日(木) 体育の日
26日(木) 彼岸明け	目の愛護デー
29日(日) 満月	14日(月) 鉄道記念日

心配ごと相談日

場所: 役場二階相談室 (東側入口からお入り下さい)
時間: 9時-12時
こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。
(相談員)
9月25日(水) 曳地 善作・高橋 恵子
10月5日(土) 佐久間 巖・村上ハツヨ
10月15日(火) 樋口 弘・渋谷 愛子



町民プールをふりかえって

国見町教育委員会

国見町公民館
☎85-2676
(有) 4156

待ちに待った町民プールが落成し、連日盛況のうちに、今日八日をもって終了いたしました。

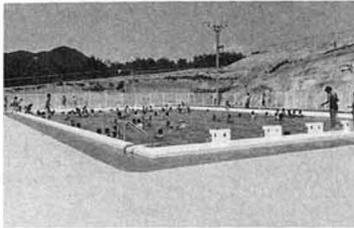
四十五日間の開催中、延べ一万五千三百九十六人の町民の皆さんにご利用いただき、満員になる日も何日かありました。これも皆さんのご協力があったものと思われまます。

ご利用いただいた皆さんからいくつかのご指摘をいただきましたが、これらについては、利用する立場になって設計されたものであり、また、使用上については、近隣町の心得なども参考にし、十分検討したものですので、ご理解とご協力を賜りたいと思います。なお、危険防止については、指導員、係および諸注意などで徹底したいと思いますが、特に、小さいお子さんの場合は、保護の立場からもご指導いただきたくお願いいたします。

ます。

利用者数

- 一般 五、四六九人
 - 高校生 一、二六九人
 - 小・中学生六、八四一人
 - 幼児 一、八一七人
- ※ご利用いただき、誠にありがとうございました。



▲連日にぎわった町民プール

町民プールを利用して

少女時代がよみがえった

新設プール

大町南 角田昭子

かねて広報紙で知らされていた新設の町民プールの利用法のチラシが、各戸に配られてきた。水泳はあまり得意でないが、全身運動には最高であることは周知の通りであり、胸おどる思いで読んだ。

夜間も泳げる設備もあり、環境も大変良い所らしいので、はやる心をおさえ、来年までには、ニットの布地を買って、ロックミシンで水着を縫って、泳ぎに行こうと思った。

八月に入ったある日、仙台に住む長男の嫁から宅急便が届いた。開けてみると、真新しい水着が入っていた。

夫と娘の孫は、すでに何度も続けてプールに遊びに行っていた。

「越中フンドシをした八十歳ぐらいの人が、今日も泳いでいますよ。」

と、夫から聞かされていたので、私も早速着心地を報告しなければと、翌日公休の夫にせがんで、車でプールに連れていってもら

った。四号国道から少し入った高台の町民プールには、あまり人影がなかった。

消毒液に浸り、深い方の角に付いている鉄パイプのハシゴを下り水につかたら、連日の暑さでプールの水は、まるで湯のように温かく、ひざのあたりにひたひたと心地よくゆれた。そして足が底につく所まで、ポトンと飛んでみたら、なんと六十二キロの体重がフワッと浮き上ったのには驚き、ははあ、これが水圧で自然と誰でも動けばさえ泳げるんだなあ」と思った。

ちょうど休みで来ていた娘夫も同行して孫たちと縁につきかまじり、バタバタと思いきり水しぶきを上げ、幼きころに身も心も返った。

速き日は、今の様に堰の水は急流でなく、水がある時は泳ぎ、流れでない時は、しじみ貝とりをした少女時代がよみがえった。

休憩時間がマイクで知らされ、水から離れる瞬間の体の重かったこと。

「よっこらしょ」と、かけ声で上ったら、厚襪おろしの風が冷たいほど肌にしみた。

夕餉の支度は、何となく体が軽くなり、腰のあたりがぼかぼか温かく、あれほど苦しんだ腰痛がうそのようにおこらない。

水の中で手足を動かすことが、こんなにも効果があるとは思っていなかった。こうして、肥満のわが身には何よりの全身運動となり、腰痛をも解消してくれ

た。

その後、間もなくおとすれる老後の健康保持に、何度も利用させていただき、新設までに突貫仕事をなされて、今夏に間に合わせてくれた工事関係者の方々のなみなみならぬご尽力に心から感謝申し上げ、税金がわが身に返った嬉しさでいっぱいである。

高齢者・婦人運動会のご案内

と き 10月5日(土) 8:20集合 8:30開会

ところ 国見町公民館前広場

参加者 60歳以上の方・婦人の方

種 目 楽しい種目いっぱい

●どなたでも、お気軽に参加できるたのしい種目を準備しておりますので、みなさん、お誘いあって、ぜひ、ご参加くださるようご案内いたします。

☎雨天の場合、10月12日(土)に延期

藤田スポーツ少年団が

優勝

九月八日、さわやかな秋晴れの下、伊達地方衛生処理組合グラウンドで、第四回伊達地方少年ソフトボール大会が行われ、国見町代表の藤田スポーツ少年団が、決勝戦で、梁川町あぶくま梁川と延長九回の末、0-0で抽選勝ちし、初出場ながら、見事に優勝しました。



▲見事に優勝した藤田スポーツ少年団

高齢者教室 研修旅行終わる

初秋の気爽う九月三、四日の両日、高齢者教室生六十七名は、山形蔵王温泉一泊で研修旅行を無事に、そして有意義なうちに終えました。

九月二十七日(金)には、福島県精神衛生センター所長の、上野文弥先生をお迎えして、成人学級との合同学習を実施しました。

少年仲間づくり教室 きもだめし大会

八月十九日の夜、教室生五十名が参加して、きもだめし大会が行われました。

まず、母と子の公民館活動指導員の内池和子さんから、霊にまつわる恐い話を、真暗い旧佐藤家住宅で息を殺して聞きました。

そのあと、きもだめし大会。三人一組で、地図をたよりに、公民館近くのお墓や神社をめぐるコースをナイトハイク。恐い話を聞いたあとにもかかわらず



▲なんか、出そうだなー

元気にゴールイン。
その夜は、公民館に宿泊。翌朝、古民家を清掃して、有意義な夏休み最後の日にしました。

テニス教室開催中!!

婦人硬式テニス教室

このたび、日曜テニス教室に引き続き、水曜日六回コースをスタートしました。対象者は婦人の初心者で午前九時から十一時までの二時間、庖丁をテニスラケットに持ち替えて、力いっぱいボールを打つ姿はたのしいものです。先生は国体出場の実験を持つ、県テニス協会指導員の阿部光子さん(桑折町体育館)です。

期日 毎週水曜日上午九時
場所 国見町運動公園テニスコート



▲あなたも、さわやかな汗を流してみませんか

く に み 短 歌 会

炎天に抗う如く吾が庭のさるすべりの花あかあかと咲く

大波 キミ

幼な孫父の墓前に名をよびつつ香焚くしぐさに目頭をふく

松田 ウメ

貝田とふ果実の里に嫁きて唯に忙し三十年過ぐ

高橋 伊勢子

搾乳おえ家路につけば夕月の茜に染みて山の端に見ゆ

星野 ミイ

夏の日も何時か傾き厨辺に又ひとしきりひぐらしの鳴く

鈴木 サチ子

塩原の出湯の窓に映りたる朝霧けむるあおき山なみ

岡田 チン

露上げる力弱りし草草に今日も日照りの太陽昇る

高橋 サグエ

炎天に勢よく伸びる雑草に畑のふちより除草剤撒く

五十嵐 マサ子

水掛けが日課となりし野菜畑の茄子を取りては雨を待ちわぶ

後藤 稲子

真夏日に息づきあらいはとりは出荷を待たす命おとしむ

佐藤 紀子

ボケない音頭・国見音頭・盆踊り (正調)講習会のお知らせ

期日 9月17日(火)
9月24日(火) }の3日間
10月1日(火)

時間 午前9時から
(毎回、時間厳守願います)

場所 国見町公民館

講師 国見町、松島会・阿部祥子先生

●お誘いあって、ぜひ、ご参加くださるようご案内いたします。

「国見の民話」講習会のお知らせ

と き 9月26日(木) 午後1時30分
と ころ 国見町公民館
テ マ マ "国見の民話"
講 師 沖繩国際大学文学部
教授 遠藤 庄治先生
(梁川町富野出身)

●日本口承文芸学会、日本民話の会等の民話学者で「国見町の民話」のお話しでありますので、みなさんにご期待いただけるものと思います。お誘いあって、ぜひ、ご聴講くださるようご案内申し上げます。

町民憲章

平和で豊かな国見町をつくりましょう。

わたくしたちは
みちのくの古跡のほとり
あつかし山の美しい山なみを背景に
阿武隈川の清い流れにうるおう
景勝の地に住んでいます。

わたくしたちは
国見町民であることによるこびと誇りをもち
心をあわせて、希望にみちた
生きがいのある町づくりのために
町民憲章を定めます。

**あたたかく、たすけあう町を
つくりましょう。**

【実践目的】

- やさしく、愛情をもってまじわりましょう。
- 老人や子どもをいたわり、希望をもたせましょう。
- なごやかで平和な、明るい家庭をつくりましょう。

**楽しく働いて、豊かな町を
つくりましょう。**

【実践目的】

- 創意をもって、仕事にはげみましょう。
- 物を大切に、工夫をこらして生活を豊かにしましょう。
- はげましあって、産業をさかんにしましょう。

**すこやかで、よろこびに生きる町を
つくりましょう。**

【実践目的】

- 健康で、たくましいからだづくりをしましょう。
- 希望をもって、強い心で生きましょう。
- 安全に心をくばり、災害などをなくしましょう。

**心をあわせて、すがすがしい町を
つくりましょう。**

【実践目的】

- 自然を大切に、緑をそだてましょう。
- きれいで、清けつな環境をつくりましょう。
- 礼儀を重んじ、きまりを守りましょう。

**教育文化を高め、希望にみちた町を
つくりましょう。**

【実践目的】

- 未来を拓く、若い力をそだてましょう。
- 教育を高め、文化財や伝統を守りましょう。
- 教養を深め、郷土に役立つ人になりましょう。

わ
だ
い



松浦さん

二度目の東北制覇

渡辺さんは陸上で四位、ソフトも東北大会出場、

去る八月七日、会津若松市で開かれた第九回東北中学校剣道大会に県代表として出場した松浦裕子さん（県北中三年、西大枝字柔道三九）が、二年ぶり二度目の栄冠を手に入れました。大会には、東北の強豪二十四名が参加。準決勝までの三試合



▲二度目の東北制覇をなした松浦裕子さん

はすべてストレート勝ちし、決勝戦では一本を取られたものの逆転で勝利。

「昨年は、足の故障で三回戦で敗れましたので、ぜひ今年は勝ちたいと思っていました。優勝できてとてもうれしい。高校に進学したら日本一になりたい」と抱負を語ってくれました。

また、八月十日に仙台で行われた東北中学校陸上大会の三種競技Bに出場した県北中三年の渡辺由美さん（森山宇上野町一八の一）も、百メートルハードル十七秒、砲丸投げ九メートル四十、走り幅飛び四メートル七十六で合計二千五百五十四点で四位に入賞しました。

渡辺さんは、「三位との差がわずかに点だったので、できれば三位になりたかった」と話してくれました。



▲四位に入賞した渡辺由美さん

同じく、県北中ソフトボール部も、八月八日に秋田市で行われた東北中学ソフトボール大会に出場し、緒戦で惜敗しましたが、相手の能代第二中は、優勝の健闘がたえられず。顧問の横山先生は、「みんな熱心に練習したおかげで東北大会に出場することができました。また、PTAのみなさんの協力があったおかげです。ただ残念なことは、下級生の部員が少ないです、もう少し積極的に部活動に参加してほしいですね」と感想を話してくれました。



▲念願の東北大会出場を果たしたソフトボール部

永年勤続者を表彰

町商工会

八月二十七日、町商工会館で町内事業所で働く優良従業員の表彰式が行われました。

商工会法施行二十五周年を記念して、町商工会が、町内事業所に勤務する勤続五、十、十五年の従業員六十八人を表彰式には、菊地政次町長など来賓が出席するなか、奥地善作商工会長が「今後も町、地域伸展のため、協力をお願いします」とあいさつし、受賞者に表彰状と記念品を手渡しました。受賞者は次のとおりです。（敬称略）

- ▽二十年以上勤続者
村上マサ子（村上農具製造業）
西宮キミ、安藤五月（八木屋）
宮沢右（佐久間紙工） 後藤衛
（斎藤工務店） 吉田俊、斎藤春雄（佃屋） 菅野芳子（斎藤建設） 菅野芳子、町商工会長 反田和夫、佐藤寿一、佐久間紙工
- ▽十五年以上勤続者
斎藤邦雄（奥地鉄工所） 松本武（鈴幸商事） 奥地正美、八水製作所（福島木材） 小島功（清水製作所） 津田幸一（樋口屋商店） 斎藤ヨウ（吉田メリヤス） 高橋政隆、佐藤内村三太郎、松浦誠、斎藤工務店 佐藤美砂子、佐久間紙工 長谷川六男（佐久間紙工所）
- ▽十年以上勤続者
岡崎茂（奥地鉄工所） 木村博良、八巻千代子、神林陸夫（国見ガス） 吉田秋雄（村上豊林製造業） 松浦久雄、須田木材中村正文、鈴木定良、半沢弘、横山フク（国見精機） 安藤敬子、武田光男、佐藤正一、奥地すみえ（清水製作所） 八島征安、清敏（樋口屋商店） 佐久間スズ、比金ヒロ、佐久間紙工 斎藤政利（斎藤工務店） 安藤正雄（野村塗装店） 由井実、山崎工務店 中山崎司、八巻正幸町商工会
- ▽五年以上勤続者
佐久間武雄（岩崎建築） 鈴木広茂（国見ガス） 小幡順一、小林吉信、谷津美紀子（樋口屋商店） 実沢三郎（斎藤工務店）

編集日記

○九月に入ったら、朝、夕めっきり涼しくなり、八月の連日の孟暑はどこへいったやらの感がします。

○いよいよ秋本番ですが、スポーツに読書に、また食欲に、何をしても適した季節だと思えます。ふだん、あまりスポーツや読書の機会がない方は、ぜひ、秋の夜長を、読書でもよし、またナイターのテニスでもいいからやってみて、体をリフレッシュさせたいかがでしょうか。○ところで、季節の変わりめ、カゼがはやっていますので、十分注意してください。



▲奥地会長から感謝状と記念品が手渡される